

要 望 事 項	(1) 湖面利用と湖畔周辺施設の整備促進
------------------	----------------------

要望先 交 通 局

(水 道 局)

(要 旨)

水源池である奥多摩湖と多摩川を都民の憩いの場として活用するため、湖面利用と湖畔周辺施設の整備促進を図りたい。

(説 明)

奥多摩湖は、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれる自然にも恵まれた都民のレクリエーションの場として役割を果たしているとともに、奥多摩観光の要として重要な位置を占めている。

今後、団塊世代の余暇時間の増大により、中高年世代の来訪者の増加が予想されるが、それに対応した施設の整備が不十分である。より多くの人々に親しまれる水源林への取り組みとして、森林セラピーロードとして認定されている「奥多摩湖いこいの道」については、来訪者へのサービスの向上のために、途中にトイレの増設や1.2km全線を歩かなくても、短時間でいこいの道を散策できるための湖横断用吊り橋などを設置し、より多くの人々が自然を散策し易くするための施設整備が必要である。

要 望 事 項	(2) 遊歩道の整備
------------------	------------

要望先 交 通 局

(要 旨)

東京都が管理している奥多摩町の遊歩道について、次の事項を促進されたい。

- ① 白丸ダム右岸遊歩道（巡視路）の早期開放
- ② 遊歩道「吉野氷川線」の早期全線整備

(説 明)

- ① 奥多摩町は全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれ、その恵まれた自然を求めて、多くのハイカー等が訪れる観光の町であり、観光産業は重要な基幹産業となっている。西多摩地域広域行政圏協議会で実施した観光入込客数調査では平成18年度が145万人、平成24年度が176万人と大きく増加し、また、JR青梅線（奥多摩駅）の乗降客数も大幅に増加している。

この白丸ダム右岸遊歩道は、東京都で吉野氷川線遊歩道として位置付けられているとともに古里駅から奥多摩駅までは片道約8km、徒歩約4時間のコースとして大多摩ウォーキングトレイルにも指定され、特に鳩の巣溪谷から海沢までの片道2.5kmは平成20年度に森林セラピーロードとしても認定されている。また、JR青梅線と平行しておりアクセスも良いことから、平日でも多くのハイカー等が利用していたが、東日本大震災の影響で落石があり、危険防止のためいまだに通行止めが続いており、現在は左岸の国道を迂回している。

左岸の国道は片側1車線の狭幅員の国道で、白丸ダム側は歩道の整備がなされておらず外側線の標示のみで大型車両の通行時はハイカーが立ち止り通過車両に注意を払うという大変危険な状態であると同時に、アクセスも良く景観も良いこの遊歩道を目的に来られた観光客に対しては、マイナスイメージに繋がっている。

このようなことから、右岸遊歩道は平成22年度までは、交通局のご理解のもと多くの観光客に開放を行ってまいりましたので、引き続き開放を求める観光客からの多くの声があるため、早急に右岸遊歩道を整備し、以前と同様に観光客に開放して頂きたい。

- ② 東京都で認定している遊歩道「吉野氷川線」は未整備箇所が多く、早期の全線整備を促進されたい。特に古里～鳩ノ巣間は未整備な危険箇所が多く、近年、このルートは白丸数馬峽経由で氷川に抜ける人気スポットとして、多数のハイカーが歩行しているが、先年の東日本大震災による落石で一部区間が通行止めとなっており、再開の見通しも立っていない。

来町したハイカーは国道を通行せざるを得ない状況でハイカー、運転者共に危険を感じている。通行止め区間上部は転石等で不安定な状況であり、ハイカーが安全・安心して観光できるよう早急に再整備する必要がある。